

# 高齢者支援センター & 町議会

高齢者支援センターは、高齢の方が住み慣れたこの町で、その人らしく安心して暮らせるように、介護、福祉、保健、医療など、さまざまな面で支援を行うための総合相談機関です。町には、ふれあいセンター内（東部）と長岡コミュニティセンター内（西部）の計2か所に設置されています。相談は、来所や電話だけでなく、職員の訪問も可能です。また、ご本人だけでなく、ご家族や地域の方からの相談も受け付けています。

**連絡先**  
東部 042-557-3852  
西部 042-557-0609

※文書取材でしたが、インタビュー形式にしています。



悩んでいた方の笑顔が見られた時は、とてもうれしかったです。

### Q 仕事の内容を教えてください。

— 65歳以上のご本人やそのご家族の、介護、健康、医療、認知症、福祉、経済などの相談窓口ですね。  
— 要支援の方のケアマネジメント業務を行っています。  
— 介護予防の体操教室を紹介したり、他に受けられるサービスがあればその利用を支援します。他にも、高齢者虐待や消費者被害の防止などにも取り組んでいます。

### Q どのような相談が多いですか。

— ご本人、ご家族からの介護申請に関すること、医療や健康に関する相談が多いですね。  
— 経済的な問題、住まいの相談なども多いです。  
— 入院先の病院から退院した後の相談も結構あります。  
— 多くはないのですが、高齢の方で、ご家族に引きこもりのお子さんがいることを案じられていて、相談に来られた方もいます。

### Q 仕事をしています。

— 近所に心配な方がいるという相談を受けました。  
— たこともありません。

### Q 仕事をしています。良かったことは何ですか。

— 提案したサービスにより、ご本人の状態が改善された時です。  
— 足が痛く、杖でやっと歩いていた方が、リハビリに通い、安定して歩くことができたという報告をもらった時はうれしかったですね。

※センターの希望により、マスクを着用して撮影しました。ご了承ください。



黒一点、頑張っています。  
主任ケアマネジャーの  
柿木 光寿さん



瑞穂町が大好きです！  
主任ケアマネジャーの  
竹沢 美恵子さん



お気軽にお立ち寄りください。  
看護師の  
庭山 さおりさん



高齢者の暮らしを支援したいです！  
保健師の  
上澤 奈緒美さん



楽しい老後のお手伝いをさせてください。  
社会福祉士の  
粕谷 良子さん



お気軽にご相談に来てください！  
社会福祉士の  
榎本 和子さん



悩みは1人で抱えず、ぜひご相談ください。  
ケアマネジャーの  
島崎 亜紀子さん



4月から就任しました。頑張ります！  
ケアマネジャーの  
乾 杏さん

### Q これまで大変だったことは何ですか。

— ご本人やご家族から、支援の必要性の理解が得られなかったり、ご家族からなかなか協力が得られなかったりしたこと。  
— 認知症などで日常生活の衣食住ができなくなっているのに、本人がそのことに気が付かず、また支援を拒否された時には、どう関わるべきか悩みました。  
— セルフネグレクトの状態の方への支援はいつも悩み、迷いながら行っています。  
— 信頼関係を築けず、本心を聞き出すことができないときが大変でした。  
— ご本人やご家族には自覚はないが、周囲の方が困っている場合などです。

### Q 住民の皆さんに伝えたいことはありますか。

— 心配なこと、不安なことは一人で抱え込まず、ご相談していただければと思います。高齢者支援センターは、長岡コミュニティセンター、ふれあいセンターにあるので、気軽にお寄りください。ご自宅への訪問も致します。

### Q 瑞穂町の良いところは何かと思いますか。

— 昔ながらの地域のつながりが残っており、近隣住民同士で支えたり見守ったりしているところ。  
— 元気な高齢の方が多いですね。  
— 自主グループやサロンなどの活動団体がたくさんあるところです。  
— コンパクトタウンなので、住民も役場も関係機関も距離が近く、顔の見える関係が作りやすいと思います。  
— 特に狭山池は、子どもから高齢の方までさまざまな人たちが散策したり、釣りをしたり、おしゃべりしたりできるので、とても良い場所です。

### Q 議会に一言

— 加齢はすべての人に起きることです。高齢の方が明るく暮らせるまちをつくらせてください。応援しています。

### ご協力ありがとうございました。

セルフネグレクトとは…  
生活の維持に必要な意欲や能力が低下し、自身の健康や安全を損なってしまう状態のこと。